

楽 典

教育学部 学校教育教員養成課程
(中等教育コース 音楽)前期日程

注 意 事 項

1. 「解答始め」の合図があるまでこの冊子は開かないこと。
2. この冊子は表紙を除いて1ページである。
3. 「解答始め」の合図があったら、まず、掲示又は板書してある問題冊子ページ数・解答用紙枚数・下書き用紙枚数が、自分に配付された数と合っているか確認し、もし数が合わない場合は手を高く挙げ申し出ること。次に、受験番号・氏名を必ず解答用紙の指定された箇所に記入してから、解答を始めること。
4. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。



注意 受験番号と氏名欄は解答用紙にあります。解答は解答用紙に記入すること。

楽典 問題用紙 (全1枚)

I. 次の楽譜を見て、下の1から5までの各設問に答えなさい。

The musical score is in 3/4 time and consists of two staves. The treble clef staff has notes with various accidentals (sharps, naturals, flats) and circled notes labeled ①, ②, ③, and ④. The bass clef staff has notes with various accidentals and circled notes labeled ㉞, ㉟, ㊱, and ㊲. Letters A and B are placed above notes in the treble clef staff.

- 楽譜中の①, ②について指定された音を全音符で書きなさい。(高音部譜表または低音部譜表で)
 - ①の音の減5度下の音
 - ②の音の長3度上の音
- 楽譜中の③, ④の音程を答えなさい。複音程の場合は単音程とみなすこと。
例: 1 オクターブ+長3度の場合は(長3度)と答えること。
- 楽譜中の㉞, ㉟, ㊱, ㊲の音を基にして、指定された和音の基本形を全音符で書きなさい。
 - (1), (2)については調号を記入し、短調の場合は和声短音階に基づくこと。
 - (3), (4)については臨時記号を用いて書きなさい。(高音部譜表または低音部譜表で)
 - ㉞の音を下属音とする長調の同主調のVの和音
 - ㉟の音を属音とする短調の平行調のVIの和音
 - ㊱の音を第三音とする減三和音
 - ㊲の音を第五音とする増三和音
- 楽譜中のA, Bの音を基にして、指定された種類の音階を、主音から主音まで1オクターブ、調号を用いず、臨時記号を用いて全音符で書きなさい。
 - Aの音を旋律短音階下行形第VI音とする調の属音を導音とする旋律短音階上行形
 - Bの音を音階の第III音とする和声短音階下行形
- 上の楽譜を短3度下の調に移調しなさい。(調号を用いて)

II. 次の①～⑥の楽語の意味に最も適する語句を、下の選択肢ア～シより1つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|--------------|---------|-------------|------------|
| ① con brio | ② dolce | ③ sostenuto | ④ risoluto |
| ⑤ ad libitum | ⑥ tutti | | |

- | | | | |
|------------|-----------|-------------|---------|
| ア 軽く | イ 牧歌的に | ウ 柔らかに・愛らしく | エ 厳しゅくに |
| オ 決然と | カ 次第に穏やかに | キ 全員で、全合奏で | ク 神秘的に |
| ケ 音を十分に保って | コ 任意に・自由に | サ 次第に速く | シ 生き生きと |



